

# 一般質問通告一覧表

令和5年第4回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨
瀧見 明彦	(1) 岬町行財政集中改革計画の方向性について問う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三次集中改革プランの成果について、経常収支比率や実質公債費比率などの指標から成果を問う。</li> <li>第四次集中改革プランの方向性について問う。</li> </ul>
	(2) 町民体育館及び各小学校体育館の空調設備使用料について問う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民体育館及び各小学校の空調設備使用料の現状は？</li> <li>スポーツ少年団などの非営利団体が使用の場合、料金設定はなんとかならないか？</li> </ul>
奥野 学	(1) 新たなみさき公園計画の進捗はどうなっているのか！	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年6月には基本構想が発表と聞いているが全く公表されていない。どうなっているのか？</li> <li>工事着工はいつからか？</li> <li>年次計画を公表して下さい。</li> <li>関西空港にも再びインバウンドで多くの外国人が来られている。日本のランドマークとなる様に望むところであるが町長の思いは？</li> </ul>
	(2) 深日漁港ふれあい広場の大阪府から岬町に向けて移管の進捗は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府令和5年度予算で洪水・浸水調査をする予定と聞いているが、調査結果はどうなっているのか？</li> </ul>
	(3) 今後の岬町農業対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地法改正に伴う改正点をお示し下さい。</li> <li>①一般人の農地の売買基準</li> <li>②一般人の農地での耕作基準</li> <li>令和6年6月2日任期満了に伴う農業委員会委員の選出、指名については、今後の岬町の農業問題を真剣に取り組む委員の指名をお願いします。</li> </ul>
大里 武智	(1) 狭路での救急搬送について	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が進む本町において救急車の進入できない狭路での対応について</li> </ul>
	(2) 老朽化が進む社会教育施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化が進む社会教育施設(青少年センター・岬の歴史館・多奈川小学校プラネタリウム等)の今後の対応について</li> </ul>
	(3) 小・中学校の不登校について	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校の不登校児童・生徒の現状と対応について</li> </ul>
中原 晶	(1) 岬町シルバー人材センターの健全な運営のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>①岬町シルバー人材センターの定款で、「目的」がどのように定められているか。</li> <li>②「目的」に反する数々の「不正」が疑われるが、そのうちのひとつが大阪府の「検査」で「職員による横領」と断定された。その内容の詳細を示せ。</li> <li>③9月議会における谷崎 整史議員の一般質問において、岬町の「管理の甘さ」を指摘する質問に対し、町長が「しあわせ創造部から理事を1名出して、理事会に加わることで…十分果たせている」と答弁している。「横領」の事実が発覚してもなお、同様のことが言えるのか。</li> <li>④谷崎 整史議員の質問に、町長は「関係者を町長室に招き、確認をしましたが、そのときは、一切そういうことはありませんとのことでした」とも答弁しているが、「関係者」とは誰か。また虚偽の説明をされたことが明らかになったが、事実解明のための調査をするべきではないか。</li> <li>⑤シルバー人材センターの健全な運営のために、岬町として今後どのように対応するのか。</li> </ul>

質問者	質問事項	質問の要旨
中原 晶	(2) 国民健康保険について	<p>①米年度から、国民健康保険事業の「府下統一化」が強行されようとしているが、保険料の「激変緩和措置期間」であったこの6年間の一人あたり平均保険料はどうであったか。</p> <p>②来年度の国民健康保険料の見通しを問う。</p> <p>③国民健康保険の「府下統一化」による加入者への影響について、広報で周知するべきではないか。</p>
	(3) 「地域ねこ」活動について	<p>・「さくらねこ」活動の概要、進捗状況と課題を問う。</p>
谷崎 整史	(1) 各種委員会等の開催通知、会議録の開示、傍聴申込の簡略化について	<p>・庁内の会議体、委員会で傍聴など公開開催の可能なものは、どれほどあるか。その周知と会議録の開示の方法はどうか。</p> <p>・傍聴手続きの簡略化について</p>
	(2) シルバー人材センターに対する町の管理について	<p>・府の指導書を受け、12月2日対応方針等説明会を実施、府を通じ国費と町の会計から、例年2千万投入する団体の、在り方に対する町の関わりが、従来通りで良いとするのか。</p> <p>・団体会計に関する報告は、議会にも個別に為されるべきではないか。</p>
	(3) 防犯カメラのプッシュ型設置と庁舎内外への状況記録カメラの設置について	<p>・地域要望の防犯カメラ設置を進めているが、犯罪発生個所や予防保安を要する箇所に先導的に、防犯カメラの設置を進めるべきである。</p> <p>・職務の公正、効率的な遂行を図るため、庁舎の内外について、状況記録や、事故や異質折衝を記録する機器の設置が必要である。</p>
	(4) 事故 防止柵の設置について	<p>・令和3年9月定例において質問した、淡輪保育所の車両事故に対する危険性について、9月28日車両事故が発生した。対人転落防止柵のみでは無く、畑山線段差下である運動場、遊具で遊ぶ園児を保護する為の車両転落防護ガードが必要である。対策の検討状況はどうか。</p>
道工 晴久	(1) 第1次産業の振興について	<p>・森林環境税について</p>
	(1) 第1次産業の振興について	<p>・森林環境譲与税について</p>
	(1) 第1次産業の振興について	<p>・農地の活用について</p>
坂原 正勝	(1) 高齢者の健康維持のために	<p>・带状疱疹ワクチン接種費用の助成をしてはどうか？</p>
	(2) 結婚や赤ちゃんの誕生を祝うため	<p>・「記念証」を発行してはどうか？</p>
	(3) 幼児教育・保育について	<p>・町内の保育所・淡輪幼稚園の今後の在り方を問う</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
谷地 泰平	(1) リサイクル率ワースト1位の脱却に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年から3年連続大阪府でリサイクル率ワースト1位となっている原因とリサイクル率向上に向けた取組は？</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭系ごみの組成分析の結果はどうなっているのか？</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の自治区や集団回収などによる資源ごみ回収の実態は？</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が「紙ごみ」の資源ごみ回収を行ってはどうか？</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペットボトルの水平リサイクル」を行ってはどうか？</li> </ul>	
	(2) 「スマート自治体」を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岬町DX基本計画」の進捗状況は？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「岬町DX推進委員会」の体制及びこれまでの委員会での検討内容は？</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務のデジタル化・ペーパーレス化は進んでいるのか？</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル人材の確保・育成、全庁的なITリテラシーの底上げへの取組は？</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部デジタル人材を活用をすべきでは？</li> </ul>		
松尾 匡	(1) 地域が支える、地産地消の循環型学校給食の提案について	<p>令和元年6月議会で提案したテーマである「地域が支える、地産地消の循環型学校給食」の、仕組みづくりがどこまで進められているのか？ その後の町の進捗状況と、そもそもの取り組み姿勢を検証します。</p> <p>＝以下、令和元年6月議会一般質問で提案した要旨＝ 全国的に現在見直されている学校給食。 子どもの健全な成長には、栄養豊富で新鮮、そしてオーガニックな食材を使うことがとても大切で、現在多くの自治体が学校給食の地産地消を取り入れています。</p> <p>一方で、岬町には増え続ける耕作放棄地と高齢化の社会的課題があります。</p> <p>そんな岬町において、仕事をリタイヤされた方々を中心に『子どもの学校給食のため』の農家や漁師を育成し、町がその農家や漁師より生産物を購入して給食で使用することで、耕作放棄地の解消と圃場の再生、農業・漁業の活性化と同時に、学校給食の地産地消を見込める、「学校給食を地産地消で地域が支える循環型学校給食」の仕組みができると思います。</p>
	(2) 南海電鉄多奈川線の減便に対する町行政の考えや今後の動き・対策と岬町の今後の公共交通のあり方を問う	<p>令和5年10月21日より、南海電鉄多奈川線が約4割も減便となりました。</p> <p>2年前から過疎地域の指定を受けるほど、人口減少・超高齢化とともに町の衰退が急速に進んでいることによる多奈川線の利用客の減少と、また100円で同じルートを走るコミュニティバスの存在の影響など、様々な要因が合わさり減便とされたと推察される多奈川線。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町行政としてこの深刻な減便をどう受け止めているのか？また減便となった様々な要因をしっかりと分析した上で、今後町行政としてどうしていくのか？</li> </ul> <p>住民にとって欠かせない公共交通のあり方が今問われている中、町行政として今後の岬町の公共交通全般についてどうしていくのか、問います。</p>